

新型コロナウイルスの感染を防ぐために

市民の皆さまには、基本的な感染症対策である、3密の回避、マスクの着用、手洗いや消毒などの対策を実施していただくとともに、緊急事態宣言の対象地域や札幌市などの感染流行地域との不要不急の往来を控えていただくほか、できる限り同居していない方との飲食を控えるなど、感染予防に細心の注意をお願いいたします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

- 場面① 飲酒を伴う懇親会等 飲酒の影響で気分が高揚すると注意力が低下し、聴覚が鈍くなり、大きな声になりがちです。また、箸やコップを共用することで感染リスクを高めます。
- 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食 長時間にわたる飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて感染リスクが高くなります。また、大人数の飲食は、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高くなります。
- 場面③ マスクなしでの会話 マスクをしないで近距離で会話をすると、飛沫感染やマイクロ飛沫感染による感染リスクが高くなります。マスクなしでの感染例として、昼カラオケなどでの事例が確認されており、車やバスで移動する際の車中でも注意が必要です。
- 場面④ 狭い空間での共同生活 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高くなります。
- 場面⑤ 居場所の切り替わり 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化で感染リスクが高まることもあり、休憩室、喫煙室、更衣室での感染が疑われる事例が確認されています。



お問合せ 保健予防課 ☎32-1547

みんなで守る救急医療 ～私たちにできること～ 市立函館保健所地域保健課 ☎32-1512

診療時間内はスタッフがそろっているなど、診療がスムーズにできます。できるだけ日中に受診しましょう。急な病気やけがなど、夜間や休日に受診の必要がある場合は、まず初期救急を受診するようにしましょう。ただし、生命にかかわるような状態のときは、迷わず救急車を呼んでください。

<初期救急> 軽症患者に対応します。詳しい検査や入院・手術が必要と医師が判断した場合は、二次救急病院へ転送します。

函館市夜間急病センター 五稜郭町23-1 (総合保健センター2階)

○発熱がある場合は、必ず来院前に電話連絡をお願いします。

☎30-1199・小児科・内科・外科 年中無休
※処方されるお薬は、かかりつけ医に受診するまでの日数分(通常1日分)です。

休日当番医

- ・内科・外科 午前9時～午後5時
 - ・小児科 午前9時～午後5時(変動あり)
 - ・眼科・産婦人科・耳鼻科 午前9時～正午
- ※当日の新聞、市HPでご確認ください。

○函館市夜間急病センターの診療時間が変更となります

3月31日(木)まで
午後7時30分～翌日午前0時30分



4月1日(木)から
午後7時30分～翌日午前0時

詳しくは、市HP「休日当番医・夜間診療機関等のご案内」に掲載しています。



小児救急 ～お子さんの急な症状で困ったときは～

北海道小児救急電話相談

夜間の急な発熱、下痢などの対処法や受診のめやすについて看護師等が助言します。

短縮ダイヤル #8000
または 011-232-1599
毎日 夜7:00～翌朝8:00

救急医療情報案内センター

24時間体制で受診可能な医療機関を案内します。

フリーダイヤル 0120-20-8699
または
(携帯電話などから) 011-221-8699

市では、よくある症状と応急処置の方法などをまとめた小児救急ガイドブック「目で見える救急箱」をHPで公開しています。

